



2026年9月7日発行
＝編集/発行＝
〒791-0393
東温市南方281-3
東温市福祉館
Tel&Fax
9 66-3306

今月号のもくじ



- 令和8年度
第1回東温市福祉館人権学習会
- 手作りエコバッグ教室

●ふくしかん書籍のご案内

●今月の行事予定



令和8年度第1回東温市福祉館人権学習会

令和8年8月24日(月)10:30～ 東温市福祉館 会議室・教養娯楽室

この人権学習会は、東温市福祉館から積極的に人権啓発を実施するため、市内小中学校の教職員を対象に開催しており、今回で6年目となります。今年度の実施校は川内中学校で、「私が差別を残しています」と題し、愛媛県人権対策協議会事務局長の小林 裕さんに講師をしていただきました。



始めに、講師の生立ちについて説明がありました。自身は神奈川県出身であり、親の転勤により小学4年生の時、高知県内に転校。方言の違いで壮絶ないじめにあうが、高知弁を話せるようになるといじめはなくなったそうです。その後、学校の授業で初めて「部落差別」を知り、激しい憤りを感じ、母親に話したところ、「いかにことよね」と言ってくれ、自分と共感してくれているものと思っていた。何年か経ち、母親が親戚との会話のなかで部落差別的な発言をしていたことにひどく失望し、そのことが現在の人権教育活動につながっていると語られていました。続いて、水平社宣言の学習を行う際、原文でなければ宣言の中の強い思いが生徒に伝わらないと話されていました。また創設者の一人、西光万吉が考案した荊冠旗について、その中の黒色は被差別(暗黒時代)を表し、赤色はその暗黒時代に最も人間らしく生き抜いてきた血の色、それを掲げる青竹の竿はあらゆる差別は決して許さないという決意であると説明されました。次に「寝た子を起こすな」論について、講師も最初は「差別のことを教えるから、いつまでも残るのでは」と思っていたが、「差別を残している自分」を自覚した今、その考え方こそ差別を他責にしている「自分は差別していないのだから」という醜さであると考えられるようになりました。最後に「差別の現実」に深く学ぶとは、不合理な差別を受けた、受けている、受けるかもしれないといった怒り、不安、虚しさの中で生活している人たちの思いに触れ、自らが差別解消の主体者となる覚悟を決めていくことであると締めくくられました。

英字新聞
で作った

手作りエコバッグ教室

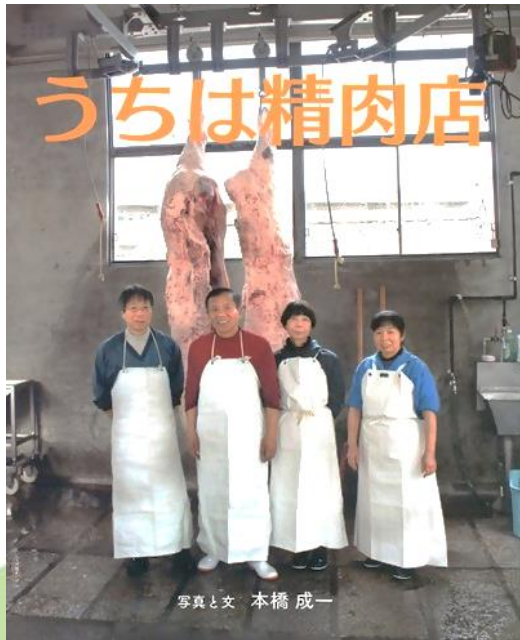
令和8年7月10日(金)東温市福祉館



夏休み直前、川内中学校のみなさんと英字新聞を使ったおしゃれなエコバッグと一緒に作りました。

カラーの写真が入ってる面やイラスト、英字のみの面、どこを正面にもってくるかを悩んでもらったあと、水のりを使ってどんどん作業は進みます。先生も一緒に製作していただき、それぞれ個性が溢れる手作りエコバッグに仕上がりました。「これでお買い物に行きたい」と言ってもらえたりと、笑顔で楽しい時間を過ごすことができました。





ふくしかん 書籍のご案内

うちは精肉店

きたでせいにくてん うし ひい く とちく せいにく だいいいとな
北出精肉店は、牛の肥育から屠畜・精肉までを代々営んで
きた家族経営の精肉店。7代にわたって続けてきた屠畜・
かぞくけいぎょう せいにくてん だい つづ とちく
解体は2012年3月に幕を閉じた。生き物は、どのように食
かいたい ねん がつ まく と いきもの た
べものにかわるのか。手とナイフと牛とが一体になるその
て うし いったい
瞬間、肉、内臓、骨、皮、血、それぞれが、それぞれに生かさ
しゅんかん にく ないぞう ほねかわ ち い
れ、生きものであった名前が、食べものの名前へと変わる。
なまえ た なまえ か
こうして、おいしいお肉やモツが生まれ、皮は太鼓となって
にく う かわ たいこ
生まれ変わる。いのちをいただいて、いのちを生かす。それ
う か
が北出さんたち家族の仕事だ。 (版元より抜粋) (はんもと ばつすい)

今月の行事予定

日	曜日	行 事
1	火	健康体操19:00～ けんこうたいそう
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	さくら山行会東温アルプス登山道整備ボラ さんこうかいとうおん とざんどうせいび
6	日	
7	月	
8	火	子育て支援「すくすく」(市社協)10:00～, 健康体操19:00 こそだ しえん ししゃきょう けんこうたいそう
9	水	
10	木	
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	
15	火	健康体操19:00～ けんこうたいそう

日	曜日	行 事
16	水	
17	木	福祉館じんけん相談19:00～21:00 ふくしかん じんけん そうだん
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	敬老の日 けいろう ひ
22	火	国民の休日 登山教室「石鎚山」 こくみん きゅうじつ とざんきょうしつ いしづみさん
23	水	秋分の日 しゅうぶん ひ
24	木	
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	健康体操19:00～ けんこうたいそう
30	水	行政相談(市総務課)13:00～15:00、各種相談日10:00～16:00 ぎょうせいそうだん(しそうむく) 13:00～15:00 かくしゅそうだんひ 10:00～16:00

※来月の登山教室:10/18「不入山」⑤天候不良等により中止の場合があります

福祉館のご利用について

開館時間 8時30分～17時00分
休館日 土・日曜・国民の祝日及び
12月28日から1月4日

ご利用他、各種お問い合わせはこちらまで

☎966-3306

※場所は、川内支所の
道路向かいです。



福祉館の相談事業

福祉館は、人権・同和問題を一日も早く解決し、みんなの力で
差別のない明るい社会を築くために建てられた施設です。生活上
の各種相談や人権相談など困ったことがございましたら、お気軽
にお越しください。もちろん、プライバシーは十分留意してしま
す。上記行事予定の定期的な相談日以外でも、常時相談を
受け付けておりますので、人権・職業・
教育・福祉などお困りの方は、電話・来館
どちらでも受け付けております。

